

## 神戸市で開催した地震防災・減災シンポジウムの模様を YouTube で公開しました！

～阪神・淡路大震災から30年の節目に地震防災の軌跡と課題を語り尽くしました～

日本損害保険協会近畿支部委員会(委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務代表取締役)では、2024年12月14日(土)、神戸市中央区の人と防災未来センターこころのシアターで開催した地震防災・減災シンポジウム「阪神・淡路大震災から30年～その時、それから、地震防災の軌跡・課題～」の模様を、阪神・淡路大震災から30年目となる2025年1月17日に、当協会公式 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/@sonpokyokai>) で公開しました。

シンポジウムは冒頭、日本損害保険協会近畿支部兵庫損保会の椿原 丈士 会長(東京海上日動火災保険株式会社兵庫本部地域営業部長)が、「本日のシンポジウムは、決してこの震災を風化させてはいけないという思いを含め、改めて震災の経験と教訓を広く発信し、次なる災害への備えや防災・減災対策に繋げていくためにはどうしたらよいかを皆さんと一緒に考えていくために企画した」と挨拶しスタートしました。

第一部は対談形式で、山崎 登 氏(国土館大学名誉教授、元NHK解説委員)がコーディネーターを務め、河田 恵昭 氏(人と防災未来センター長、関西大学特別任命教授、京都大学名誉教授)と室崎 益輝 氏(兵庫県立大学名誉教授、神戸大学名誉教授)が、阪神・淡路大震災発生当時の状況やこの大震災が社会に突き付けた課題、この30年で実現できたこと・できなかったこと、将来の日本の防災に向けての提言等、それぞれの体験や熱い思いを語り尽くしました。

【第一部：<https://youtu.be/Y21nLPQNBk>】

第二部はパネルディスカッション形式で、第一部に続いて山崎 登 氏がコーディネーターを務め、澤田 雅浩 氏(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)、大牟田 智佐子 氏(毎日放送報道情報局部次長、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科客員研究員)、坂本 誠人 氏(人と防災未来センター特別研究調査員、元兵庫県防災企画局長)、大知 久一(日本損害保険協会専務理事)の4人が、災害に強い街づくりや地域の防災力の高め方、防災・減災の今後のあり方等について、それぞれの立場で防災・減災に長年携わってきた経験等をもとに発言されました。

【第二部：<https://youtu.be/zQIyIS039VQ>】

是非ご視聴いただき、本シンポジウム動画をきっかけとして、防災・減災や地震保険の重要性について、あらためて考える機会としていただけましたら幸いです。

また、当支部では、今回のようなシンポジウムやセミナー等の開催を通じて、地震後の心強い味方となる地震保険のより一層の普及を図ってまいります。

### 《シンポジウム概要》

- 日時：12月14日(土)14:00～16:45
- 会場：人と防災未来センター こころのシアター(オンラインライブで同時配信)
- 参加者数：280名(内訳：会場参加者 80名、オンラインライブ同時接続者数 200名)
- 共催：人と防災未来センター
- 後援：財務省近畿財務局、兵庫県、神戸市、日本災害復興学会、兵庫県立大学、神戸新聞社  
NHK 神戸放送局、MBS テレビ、兵庫県損害保険代理業協会
- 出演者(敬称略)：

〈司会〉

- ・岡 愛子 (フリーアナウンサー)

〈主催者挨拶〉

- ・椿原 丈士 (日本損害保険協会近畿支部兵庫損保会会長、東京海上日動火災保険株式会社兵庫本部地域営業部長)

**第1部 対談**

〈話し手〉

- ・河田 恵昭 (人と防災未来センター長、関西大学社会安全学部特別任命教授、京都大学名誉教授)
- ・室崎 益輝 (兵庫県立大学名誉教授、神戸大学名誉教授)

〈コーディネーター〉

- ・山崎 登 (国土館大学名誉教授、元NHK解説委員)

**第2部 パネルディスカッション**

〈パネリスト〉

- ・澤田 雅浩 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)
- ・大牟田 智佐子 (毎日放送報道情報局部次長、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科客員研究員)
- ・坂本 誠人 (人と防災未来センター特別研究調査員、元兵庫県防災企画局長)
- ・大知 久一 (日本損害保険協会専務理事、災害の自分事化協議会委員、NIPPON防災資産選定委員)

〈コーディネーター〉

- ・山崎 登 (国土館大学名誉教授、元NHK解説委員)



〈第1部登壇者の皆さま〉



〈第2部登壇者の皆さま〉